205000161-0

PRODIA

地上デジタルハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

型番

PRD-LK112BK
PRD-LK112WH
PRD-LK112RE

このたびは、地上デジタルハイビジョン液晶テレビ「PRD-LK112」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目次

はじめに

テレビを見る

■ 本書では地上デジタル放送、ワンセグ放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。

■ 本書で使用している画像は製品開発中の画面であり、実際とは異なる場合があります。

■ 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

■「eneloop®」は三洋電機株式会社の登録商標です。

■ 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。

テレビの設定

バッテリーを使う

お役立ち情報

安全上のご注意

本製品を使用する前に、かならず以下の注意事項をお読みになり、正しく取り扱ってください。内容や注意事項が十分に理解できない場合は、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。また、本書は必要なときに参照できるように大切に保管してください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくためにかならず守っていただきたい事項を、以下の表示と図記号で説明しています。

警告表示

誤った取り扱いによって生じる危害や損害の程度を以下の表示で分類しています。

表示	内容
⚠危険	死亡または重症を負う危険性があり、かつ、その切迫の度合いが高いことを示します。
⚠警告	死亡または重症を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。
⚠注意	障害を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。

図記号

守っていただく内容の種類を示しています。

禁止 ： 禁止事項（してはいけないこと）を示します。

指示 ： 順守事項（かならずすること）を示します。

使用前に知っておいていただきたいこと・・・

⚠危険

禁止

付属のバッテリーパックは本製品以外で使用しない。

本製品以外で使用すると、機器の故障、バッテリーパックの破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因となります。また、感電のおそれもあります。

本製品に対応していないバッテリーパックを使用しない。

破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因となります。また、けがや故障を引き起こすおそれがあります。

バッテリーパックを火の中に投入したり、加熱しない。

バッテリー液の吹き出しや、発火、破裂の原因となります。

バッテリーパックに穴をあけたり、直接ハンダ付けするなど、分解・改造をしない。

ショートして破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因となります。

バッテリーパックの金属端子部分を針金などの金属で接続しない。また、保管や持ち運びのときは、他の金属製品と一緒にしない。

ショートして破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因となります。また、感電のおそれもあります。

⚠警告

禁止

・分解・改造は絶対にしない。
・内部に指や物を入れない。
・熱器具に近づけたり、破損させたりしない。
・本体や付属品を水につけたり、濡らしたりしない。

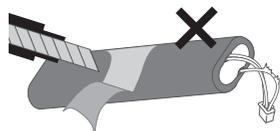
火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。
修理や点検は、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターにご相談ください。

電源ケーブルおよび AC アダプターを傷つけたり加工しない。（無理に引っ張る・曲げる・ねじる、重いものをのせる、ドアなどではさむなど）

火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

バッテリーパックの外装チューブおよびリード線の絶縁物をはがしたり、傷つけたりしない。

ショートして破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因になるおそれがあります。また、感電のおそれもあります。

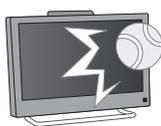
⚠警告

乾電池の取り扱いは以下の事項を守る。

- **かならず指定の乾電池を使用する。**
- **正しい極性（＋ / −）でセットする。**
- **使用期限が過ぎた電池や使い切った電池は使用しない。**
- **種類・メーカーの異なる電池および新しい電池と使用した電池を併用しない。**

破裂や液もれにより、故障およびけがの原因になるおそれがあります。

⚠注意

液晶パネルを強く押したり、物を投げつけたりしない。

ガラスが割れて、感電やけがの原因になるおそれがあります。

本製品の AC アダプターと電源ケーブルを別の用途に使用しない。また、別の製品の AC アダプターと電源ケーブルを本製品に使用しない。

火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

ケーブル類は無理に引っ張って接続しない。また、配線で足をひっかけたりするようなおそれがある場所には設置しない。

落下や転倒により、故障やけがの原因になるおそれがあります。

バッテリーパックに強い衝撃を与えたり投げつけたりしない。

破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因になるおそれがあります。

バッテリーパックを持ち運ぶときは、コネクターやリード線を持たない。

バッテリーパックの破損の原因になるおそれがあります。

バッテリーパックおよび乾電池の残量がないときや、長期間使用しないときは、本体やリモコンから取り外しておく。

液もれが発生し、故障や汚損の原因になるおそれがあります。

お買い上げ後、はじめてバッテリーパックを使用するときは、端子部分に錆びがないかを確認する。
また、その他の外観上の異常がある場合は使用を中止する。

異常のあるまま使用すると、故障や感電、およびバッテリーパックの破裂、発火、発熱の原因になるおそれがあります。
異常がある場合は、お買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

異常や故障のときは・・・

⚠危険

禁止

バッテリーパックやリモコンの乾電池が液もれしているときは直接触らない。

皮膚の炎症や失明の原因となります。衣服や肌に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目に入った場合は、こすらずに大量の水で洗い流して、医師の診断を受けてください。

⚠警告

電源プラグを抜く

以下の場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパック／乾電池を外す。

- **本製品から異音、異臭、煙が出ているとき**
- **本体や AC アダプターが故障、破損しているとき**
- **本製品の内部に液体や異物が入ったとき**
- **電源プラグが異常に熱いとき**

そのまま使用すると、火災および感電の原因になるおそれがあります。電源プラグ、バッテリーパックや乾電池を取り外すときは、火傷をしないように注意してください。

修理や点検は、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターにご相談ください。

液晶パネルが破損したときは、電源プラグを抜き、バッテリーパックを外す。また、本製品や破損した液晶、ガラス片を直接触らない。

火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。

液晶が誤って目や口に入ってしまった場合は、すぐにきれいな水で洗い流して医師の診断を受けてください。

指示

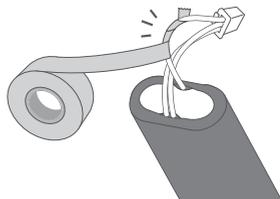
液もれ、変色、変形、破損など、バッテリーパックに異常のあるときは使用を中止する。

そのまま使い続けると、破裂や故障および感電の原因になるおそれがあります。

バッテリーパックのリード線や金属端子部分が露出している場合は、ビニールテープなどで絶縁し、絶縁後は使用しない。

バッテリーパックがショートして火災や発煙の原因になるおそれがあります。

使用するときは・・・

⚠危険

バッテリーパックおよびリモコンの乾電池は正しい方向で取り付ける。
極性を逆にして接続すると、破裂、液もれ、異常な発熱の原因となります。

⚠警告

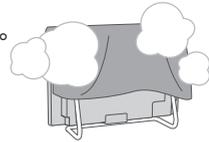
振動や衝撃のある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない。
転倒や落下により、故障およびけがの原因になるおそれがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱して火災の原因になるおそれがあります。

以下の場所では使用しない。

- 水のかかる場所
- 可燃性、爆発性、引火性のガスがある場所
- ほこり・湿気・油煙の多い場所
- 粉じんが発生する場所

火災や爆発、故障および感電の原因になるおそれがあります。

上にものをかぶせたりして、本体の通風孔をふさがない。
内部温度が上昇して、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

AC アダプターや電源プラグにふとんをかけたり、熱器具を近づけたりしない。
火災や故障の原因になるおそれがあります。

屋外で使用する場合は、雨や雪などがかからないようにする。
故障および感電の原因になるおそれがあります。

何か異常が起こったときに、すぐに電源プラグを抜いてバッテリーパック／乾電池を外せるように設置する。
異常が発生したときに通電し続けると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

落下や転倒などにより、本体やバッテリーが破損した場合は使用を中止する。
そのまま使い続けると、破裂や故障および感電の原因になるおそれがあります。

屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する。
けがや感電の原因になるおそれがあります。

⚠注意

濡れた手で本製品やバッテリーパック、乾電池に触ったり、電源プラグを抜きさししない。

感電の原因になるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近く、炎天下の車内など、極端に温度が高くなる場所で使用しない。

内部温度が上昇して、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

使用中は AC アダプターに長く触れない。

温度が上昇して、低温やけどの原因になるおそれがあります。

音量を上げすぎない。

聴力低下の原因になるおそれがあります。周囲の人の迷惑にならないように適度な音量でお楽しみください。また、ヘッドホンを使用する場合は、必要以上に耳を刺激しないようにしてください。

電源プラグはコンセントに確実にさし込む。

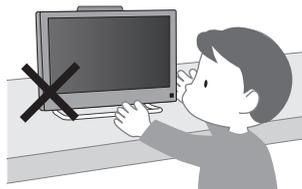
さし込みがゆるいと、感電の原因になるおそれがあります。

バッテリーパック／乾電池が本体に確実に取り付けられ、カバーが閉まっているか確認する。

正しく取り付けられていないと、バッテリーパック／乾電池が脱落して、けがや故障の原因になるおそれがあります。

指を挟まないよう注意する。（設置・移動・本体の背面カバーの開け閉め・角度の調整など）

けがの原因になるおそれがあります。

- **小さなお子様の手の届かない場所に設置する。**
- **本製品を移動するときは、接続しているケーブル類をすべて外す。また、輸送中にぶつけたり落としたりしないように注意する。**

転倒や落下により故障やけがの原因になったり、ケーブルのコネクタ部分が破損するおそれがあります。

充電するときは・・・

⚠危険

本製品に対応していないバッテリーパックを充電しない。

禁止

破裂、液もれ、発火、異常な発熱の原因となります。

かならず本製品で充電する。

指示

本製品以外の機器で充電すると、過大電流で充電されたり、充電制御が行えない場合があり、破裂、液もれ、異常な発熱の原因となります。また、方法によっては故障および感電のおそれがあります。

⚠警告

禁止

所定の充電時間を超えても十分に充電されない場合は使用を中止する。また、本書で指示されている時間を超えて充電しない。

過度に充電すると、液もれや異常な発熱の原因になるおそれがあります。修理や点検は、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターにご相談ください。

⚠注意

禁止

バッテリーパックが冷えたまま（0℃以下）での充電や､寒い戸外（0℃以下）での充電はしない。

液もれやバッテリーパックの寿命低下の原因になるおそれがあります。

指示

充電は 0℃～ 35℃の範囲内で行う。

指定温度の範囲外では、バッテリーパックの液もれ、発火、異常な発熱の原因になるおそれがあります。

お手入れ・保管・廃棄するときは・・・

⚠警告

禁止

バッテリーパックを気密性の高い場所や容器に入れて保管しない。

電池内のガスが漏れて充満する場合があり、火災や故障の原因になるおそれがあります。また、ガスを吸い込んだ場合は体調不良を引き起こすおそれがあります。

指示

電源プラグのほこりや汚れは定期的に掃除する。

そのまま使用すると、火災および感電の原因になるおそれがあります。

⚠注意

本体やバッテリーパックを、直射日光が当たる場所や熱器具の近く、炎天下の車内など、極端に温度が高くなる場所に置かない。

液もれやバッテリーパックの寿命が低下する原因になるおそれがあります。

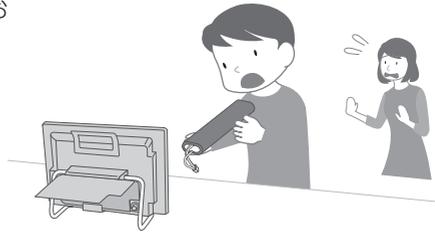
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパック／乾電池を外しておく。

電源プラグにほこりがたまると、火災および感電の原因になるおそれがあります。また、バッテリーパック／乾電池に液もれが発生すると、故障や汚損の原因になるおそれもあります。

バッテリーパックは -20℃～ 30℃の範囲内で湿気の少ない場所に保管する。

液もれや錆び、バッテリーパックの寿命低下の原因になるおそれがあります。

バッテリーパックはお子様の手の届かない場所に保管する。また、本製品の使用中にお子様がバッテリーパックを取り外さないように注意する。

故障および感電の原因になるおそれがあります。

本体内部の掃除は弊社または販売店に依頼する。

内部にほこりがたまると、火災および感電の原因になるおそれがあります。3 年に 1 回を目安に弊社または販売店に内部の清掃を依頼してください。

廃棄するときは、自治体の条例や規則などにしたがい、正しく分別する。また、バッテリーパックは一般家庭ごみとして捨てない。

本製品および本製品の梱包箱（緩衝材を含む）は、お住まいの地方自治体の条例および規則にしたがった分別で廃棄してください。

なお、バッテリーパックは本体から取り外し、端子部分をビニールテープなどで絶縁してから最寄のリサイクル協力店の「小形充電式電池リサイクル BOX」に入れてください。

使用上のご注意

視聴について

■ 視力の低下を防ぐため、視聴時は画面と適度な距離をあけ、部屋を明るくしてお楽しみください。

■ 周囲の人の迷惑にならないように適度な音量でお楽しみください。また、ヘッドホンを使用する場合は、大音量で必要以上に耳を刺激しないように注意してください。

mini B-CAS カードは必要なとき以外は抜かない

■ mini B-CAS カードは番組の著作権保護などのためデジタル放送の視聴に必要なICカードです。mini B-CAS カードがないとデジタル放送を見ることができません。（ワンセグ放送を除く）

■ 抜きさしが必要なときは、本機の電源ケーブルでお使いの場合はコンセントを抜いてから、バッテリーでお使いの場合はバッテリーパック／乾電池を取り外してから行ってください。通電したまま行うと放送を受信できなくなるおそれがあります。

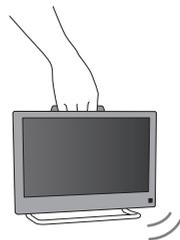
液晶パネルについて

■ 液晶パネルは技術的に常時点灯する画素（輝点）や画素欠け（滅点）を完全になくすことができません。製品に輝点や滅点がある場合がありますが、製品の不良ではないことをご了承ください。

■ 画面の焼き付き（残像）を防ぐため、長時間同じ映像を表示し続けないでください。また、画面比率が 4：3 の映像を長時間表示すると、16:9 の映像で輝度が異なる部分ができることがあります。できるだけフルスクリーンでお使いください。

持ち運びについて

■ ケーブル類をすべて外してから持ち運んでください。つないだまま行うとケーブルや端子部分が破損するおそれがあります。

■ 持ち運ぶときは、かならず背面のハンドルを持ってください。液晶パネルを直接つかむと割れるおそれがあります。

本体が熱くなる場合があります

■ 長時間使用すると、本体内部から発生する熱を逃がすため、本体が熱くなる場合があります。

■ 使用および充電中は、バッテリーパックが熱くなる場合があります。直射日光が当たる場所や熱器具の近く、炎天下の車内など、極端に温度が高くなる場所では使用しないでください。

お手入れについて

感電や端子類の破損防止のため、お手入れの際はかならず電源を切ってから、ケーブル類やバッテリーなどをすべて外してください。特にアンテナ線の取り付け／取り外しは端子の芯線が折れたり曲がったりしないように注意してください。

- 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。表面を擦るように拭くと、細かい傷が入るおそれがあります。
  汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

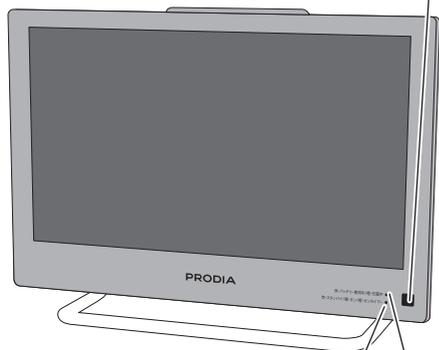
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、研磨剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変色、変質、変形のおそれがあります。
- ヘアスプレーや殺虫剤など、揮発性の薬品がかからないように注意してください。
- 液晶パネルのお手入れは、市販の専用クロスや静電気除去ブラシを使用してください。
- 定期的に電源プラグにたまったほこりを掃除して、さし込みにゆるみがないかを確認してください。そのまま使用すると発火のおそれがあります。

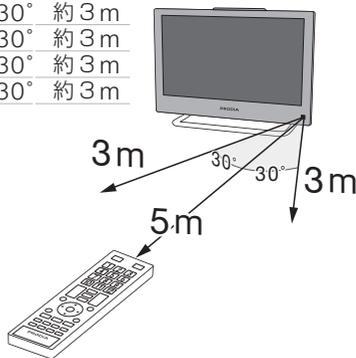
廃棄するときはルールを守って

■ 本製品および本製品の梱包箱（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

■ バッテリーパックを廃棄する場合は、お住まいの近くの充電式電池リサイクル協力店の「小形充電式電池リサイクル BOX」に入れてください。なお、バッテリーパックの端子部分はビニールテープなどで絶縁しておいてください。

本体各部のはたらき

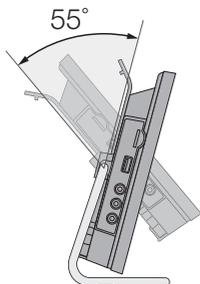
前面

リモコンの信号を受信する部分です。
ここにリモコンを向けて操作してください。
※この部分をさえぎるように物を置かないでください。

操作できる範囲	
正面	約５ｍ
上 30˚	約３ｍ
下 30˚	約３ｍ
左 30˚	約３ｍ
右 30˚	約３ｍ

電源ランプ
本機の状態を示します。

光り方	本機の状態	
消灯	通電していません	
緑	電源／入	
赤	電源／切	（待機中）
赤（点滅）	内部処理中	
オレンジ	オンタイマー設定中	

※内部処理中は電源プラグを抜かないでください。

バッテリーランプ
バッテリーパックと乾電池の状態を示します。

光り方	バッテリーの状態
消灯	バッテリー未使用
オレンジ	バッテリーパック充電中
赤	バッテリー駆動中 ※待機中も表示されます。

画面の正面からまっすぐ見えるように本体の角度を調整してください。画面の視野角を超えた角度から見ると、映像がきれいに見えません。（視野角：上 15˚下 35˚左 45˚ 右 45˚）

※画面の見え方には個人差があります。

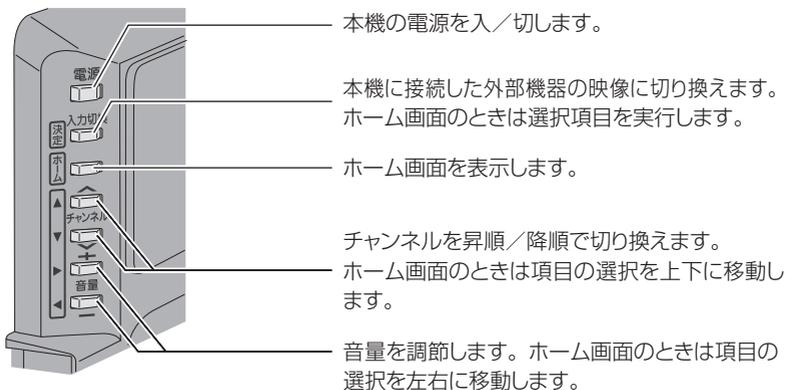
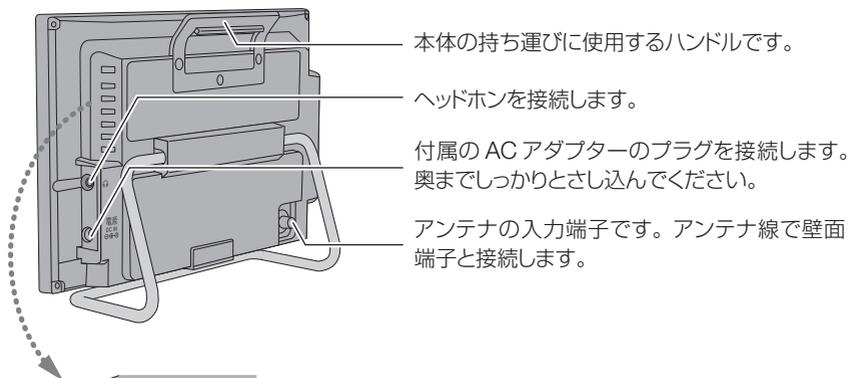
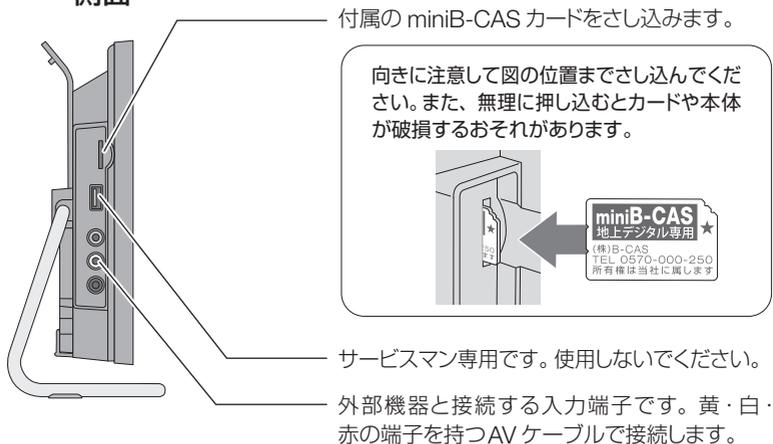
角度を調整するときは、本体が倒れないようにスタンドをしっかり押さえてください。また、本体とスタンドの間に指をはさまないように注意してください。

背面

本体の持ち運びに使用するハンドルです。

ヘッドホンを接続します。

付属の AC アダプターのプラグを接続します。
奥までしっかりとさし込んでください。

アンテナの入力端子です。アンテナ線で壁面
端子と接続します。

本機の電源を入／切します。

本機に接続した外部機器の映像に切り換えます。
ホーム画面のときは選択項目を実行します。

ホーム画面を表示します。

チャンネルを昇順／降順で切り換えます。
ホーム画面のときは項目の選択を上下に移動します。

音量を調節します。ホーム画面のときは項目の
選択を左右に移動します。

側面

付属の miniB-CAS カードをさし込みます。

向きに注意して図の位置までさし込んでください。また、無理に押し込むとカードや本体が破損するおそれがあります。

サービスマン専用です。使用しないでください。

外部機器と接続する入力端子です。黄・白・
赤の端子を持つAV ケーブルで接続します。

リモコンボタンのはたらき

現在放送されている番組の一覧を表示します。

番組表を表示します。

画面上で選択項目を移動・実行します。

戻る

1 つ前に表示していた画面に戻ります。

サブメニュー

サブメニューを表示します。表示中の画面によって選択できる項目が異なります。

省電力

画面の明るさをおさえて消費電力を節約します。画面が少し暗くなります。

ホーム

ホーム画面を表示します。

P.66 P.23 P.28

放送局と本機のお知らせを確認します。

電源切換

電源を切り換えます。
（AC アダプター／バッテリー）

本機の番組表やデータ放送で割り当てられている操作を実行します。

省電力 電源切換 は、
押すたびに切り換わります。

テレビを見るときの便利な機能

番組の情報を見る

現在選局しているチャンネルの放送局名や放送時刻などの番組情報を表示します。バッテリー残量やワンセグ放送の受信感度の目安も表示されます。

画面表示 を押す

番組情報が表示されます。

番組の情報

番組の放送局や開始／終了時刻などが表示されます。
しばらくすると簡易表示（下図）に切り換わります。

12 地デジ 011-1 PM 10:38

表示されるマーク

ACアダプター駆動

(点滅)
バッテリーパック充電中

バッテリー駆動

バッテリー残量の目安

※ になると電源が切れる可能性があります。予備の乾電池を準備するか、バッテリーパックを充電してください。

ワンセグ放送の受信レベルの目安

※ ワンセグ放送の視聴中のみ表示されます。

※ 受信レベルが低くなるにつれ、ノイズが発生したり、映像が表示されなくなります。

データ放送を見る

データ放送では、天気予報などの生活に役立つ情報や、番組に連動した情報が提供されています。チャンネルスキャンで受信できるチャンネルでのみ利用できます。ただし、双方向通信には対応していません。（ワンセグ放送の視聴中は使用できません）

dデータ を押す

データ放送が表示されます。

画面の内容は番組によって異なります。

データ放送画面は下記のボタンで操作します。番組によっては、別のボタンが割り当てられている場合があります。画面上の指示を確認してください。

 ・

・ 青 赤 緑 黄

選択項目を選択・実行します。

1 ～ 10 数字を入力します。

戻る

 前の画面に戻ります。

dデータ データ放送を終了します。

地域設定を変更する

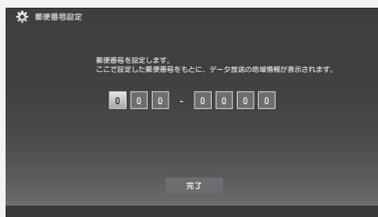
データ放送で提供されている天気予報などの表示地域を変更することができます。お住まいの郵便番号を入力してください。

ホーム を押して **設定 を選ぶ**

機器設定 を選ぶ

受信設定 を選ぶ

郵便番号設定 を選ぶ

設定画面が表示されます。

地域の郵便番号を入力する

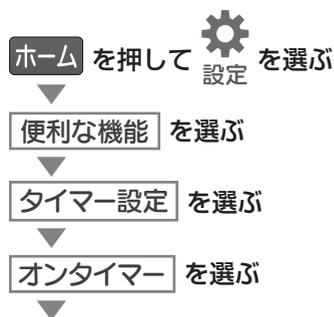
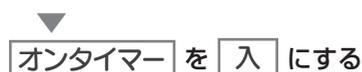
※ 数字は 1 ～ 10 で入力します。

※「0」を入力するには 10 を押してください。

※ 誤って入力した場合は、◀▶ で修正箇所に移動してから再入力してください。

完了 を選ぶ

オンタイマー

あらかじめ設定した時刻に本機の電源を入れることができます。この機能を使用するときは電源を AC アダプターにしておくことをおすすめします。

設定画面が表示されます。

電源を入れる時刻やチャンネルを設定する

［曜日］で毎日または毎週に設定することもできます。

オンタイマーの設定が適用されます。本機の電源を切ると、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

- 設定画面は サブメニュー からも表示できます。
- オンタイマーはデジタル放送の時刻情報に基づいて動作します。お買いげ直後などで、デジタル放送の時刻情報がないときは、番組を 30 秒以上受信すると時刻情報を取得できます。

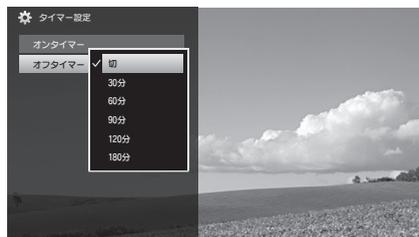
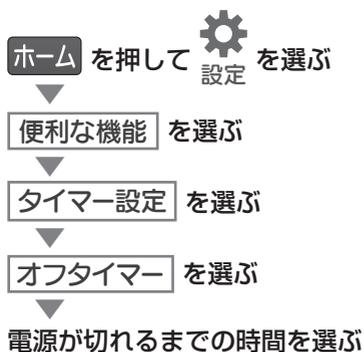
オフタイマー

時間を指定して、本機の電源を自動的に切ることができます。電源が切れるまでの時間を選んでください。

便利な機能 を選ぶ

タイマー設定 を選ぶ

オフタイマー を選ぶ

電源が切れるまでの時間を選ぶ

オフタイマーの設定が適用されます。

電源が切れる 1 分前に、オフタイマーの作動を伝えるメッセージが表示されます。

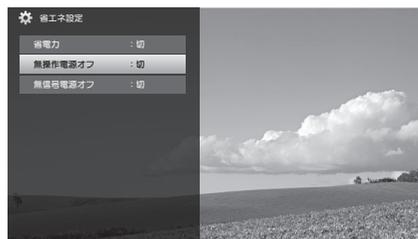
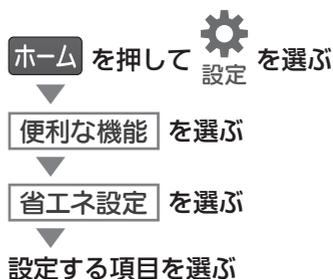
設定画面は サブメニュー からも表示できます。

無操作／無信号電源オフ

一定の条件で自動的に電源を切るように設定することができます。

便利な機能 を選ぶ

省エネ設定 を選ぶ

設定する項目を選ぶ

無操作電源オフ

本機の操作が 3 時間以上なかった場合、自動的に電源を切ります。

無信号電源オフ

外部機器からの入力信号がないときや、表示中のチャンネルの放送終了から 10 分後に自動的に電源を切ります。

クイック起動

電源を入れてから番組の画面が表示されるまでの時間を短縮します。ただし、待機中の消費電力が上がります。

ホーム を押して 設定 を選ぶ

▼

便利な機能 を選ぶ

▼

クイック起動 を選ぶ

▼

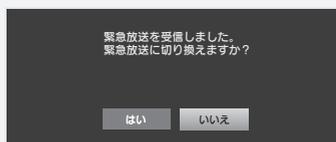
入 を選ぶ

※ ただし、バッテリー駆動中は設定が無効になります。

緊急時にも役立ちます

［クイック起動］を［入］にしておくと、緊急警報放送の受信時に、自動的に本機が起動してその内容を表示します。この時、大きめの音量（40）で起動します。

※ AC アダプターを接続している場合に限ります。

※ 番組の視聴中に受信した場合は、クイック起動の設定に関係なくメッセージが表示され、［はい］を選ぶとチャンネルが切り換わります。

緊急警報放送とは？

地震や津波などの大規模災害が発生した場合に災害情報をいち早く伝える放送です。被害の予防や軽減に役立たせることを目的としています。例えば、以下のような状況の場合に放送されます。

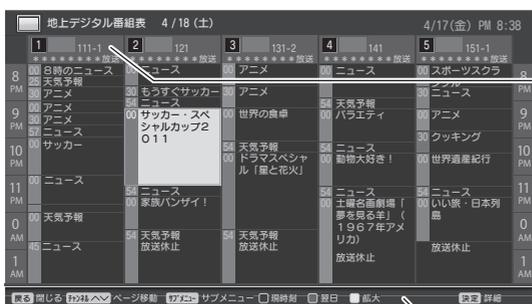
- 大地震の警戒宣言が発せられた場合
- 津波警報が発せられた場合

番組表を使う

番組表を見る

地上デジタル放送では、当日から 7 日先までの番組表を画面で確認することができます。
（ワンセグ放送の場合は最大で 10 番組まで）

を押す

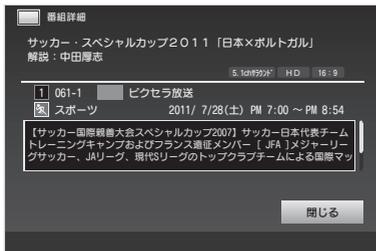
番組表が表示されます。
番組情報が表示されない場合は、P.24 の手順で番組表の情報を取得してください。

番組の詳細を見る

番組の詳細情報を確認します。

を押す

番組表が表示されます。

番組を選ぶ

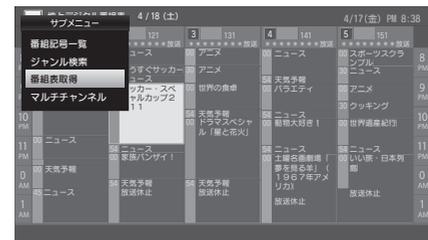
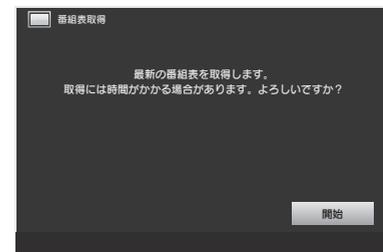
番組の詳細画面が表示されます。

※ 現在放送中の番組を選んでいる場合は［視聴］が表示され、番組画面に移動することができます。

番組表を取得する

番組表に番組情報が表示されないときに情報を取得します。取得には時間がかかるため、時間に余裕があるときに行ってください。（ワンセグ放送の視聴中は使用できません）

を押す

番組表が表示されます。

を押して 番組表取得 を選ぶ

開始 を選ぶ

番組表の取得が開始されます。完了するまでしばらくお待ちください。

番組表の更新頻度

AC アダプターが接続されていて本機が待機状態のときに、1 日に 1 回自動的に更新されます。
ただし、ワンセグ放送の場合は番組を数秒間、視聴することで番組表が更新されます。（各放送局 10 番組まで）

番組をジャンルで探す

スポーツやニュースなど、ジャンルを指定して、番組を探すことができます。（ワンセグ放送の視聴中は使用できません）

番組表 を押す

番組表が表示されます。

サブメニュー
を押して ジャンル検索 を選ぶ

ジャンル検索画面が表示されます。

ジャンル指定 を選ぶ

小ジャンル指定 を選ぶ

検索開始 を選ぶ

番組の検索結果が表示されます。

番組表のメニュー

番組表のメニューでは最新の番組表を取得したり、番組をジャンルで探したりできます。

を押す

番組表が表示されます。

を押す

番組表のメニューが表示されます。

目的の操作を選ぶ

項目については右記を参照してください。

サブメニュー項目

番組記号一覧

番組表内で使用されている記号の説明を表示します。

ジャンル検索

スポーツやニュースなど、番組のジャンルを指定して、該当する番組の一覧を表示します。（P.25）

番組表取得

最新の番組表を取得します。（P.24）

代表チャンネル／マルチチャンネル

デジタル放送では、1 つの放送局に複数のチャンネルが割り当てられているため、放送局が同じでも同一時間帯に異なる番組が放送される場合があります。

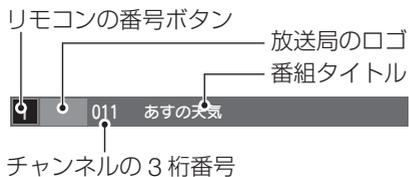
【代表チャンネル】
複数のチャンネルのうち、各放送局の先頭の 1 チャンネルだけを番組表に表示します。
1 画面で表示できる放送局数が増えますが、2 番目以降のチャンネルで異なる番組が放送されても、番組表には表示されません。

【マルチチャンネル】
すべてのチャンネルを番組表に表示します。

裏番組表を見る

他のチャンネルで現在放送されている番組名を一覧で見ることができます。

を押す

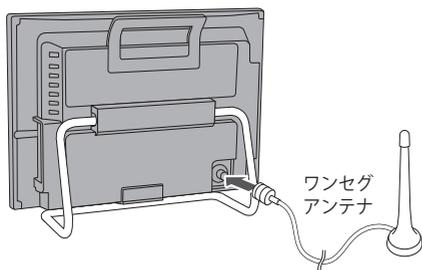
裏番組表が表示されます。

視聴する番組を選ぶ

チャンネルが切り換わります。

> お買い上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを外していたときは、番組情報が表示されない場合があります。この場合は、番組表の情報を取得してください。（P.24）

ワンセグを見る

1 ワンセグアンテナをつなぐ

本体の背面につなぐ

壁面アンテナでも受信できます

ワンセグ放送は壁面のアンテナ端子との接続でも受信できます。かならずしもワンセグアンテナに付け換える必要はありません。

ワンセグアンテナについて

- 電波の弱い地域や鉄筋コンクリート構造の建物内では、受信できない場合があります。
- ワンセグアンテナを本機以外の製品に使用しないでください。故障の原因になるおそれがあります。
- 本機を移動するときはワンセグアンテナを取り外してから移動してください。破損したり、落下の原因になります。
- ロッド部分の先端で目をついたりしないように取り扱いには注意してください。
- ワンセグアンテナでチャンネルスキャンを行うと、受信レベルによって、すべてのチャンネルを登録できない場合があります。

2 入力を切り換える

ホーム を押して ワンセグ を選ぶ

ワンセグ放送に切り換わります。

操作方法は地上デジタル放送とほぼ同じです。ただし、以下の点が異なります。

- 番組表に表示される番組数が各放送局10 番組までになります。
- 番組表の自動更新機能がありません。番組を数秒間視聴すると更新されます。
- 番組のジャンル検索ができません。

ワンセグ放送とは

ワンセグ放送は地上デジタル放送の帯域の一部を利用して設計された、携帯電話や移動端末用のサービスです。
帯域の一部しか利用していないため、地上デジタル放送に比べて解像度が低く、映像が粗くなります。

高画質　低画質

ワンセグ放送の受信レベルの目安

画面表示 を押して、右記の受信レベルのマークを確認してください。

（ 以上が快適に視聴できる目安）

受信レべるを上げるには？

受信レベルが低くなるにつれ、ノイズが発生したり、映像が表示されなくなります。
受信レベルを上げるには以下を参考にしてワンセグアンテナの設置場所などを変更してください。

ロッドの長さを調整する	底面の磁石部分でスチール製品などに固定する	窓側などの壁のないひらけた場所に置く

映像の設定

画質の設定

画質の設定は、用途に応じて用意されている[映像モード] からお好みのモードを選ぶか、明るさや色合いなどを個別に設定することで調節します。

画質を変更する入力に切り替える

▼

▼

映像設定 を選ぶ

▼

画質設定 を選ぶ

▼

設定画面が表示されます。

▼

設定対象 で変更する対象を選ぶ

［共通］にすると、他で［共通］を選んだ放送波や入力の画質も同時に変更されます。

▼

映像モード でモードを選ぶ

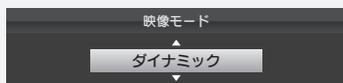
画面を見ながら ▲▼ で選んでください。

▼

必要に応じて画質を調整する

画質調整の項目を選ぶと設定画面が表示されます。調整後は映像モードが［ユーザー］として登録されます。

映像モードの切り換え方法

▲▼で変更してから 決定 を押します。

ダイナミック

色の濃さやコントラストが強調されます。

スタンダード

標準的な画質です。通常のテレビ視聴や DVD 再生に適しています。

シネマ

若干暗めの画質です。映画を観るときや、長時間の視聴に適しています。

リビング

標準的な画質よりも若干鮮明な画質です。

ユーザー

設定項目を個別に調節した場合はこちらを選んでください。

画質の調整方法

◀▶または▲▼で変更してから 決定 を押します。

※ 項目によって操作が異なります。

設定をリセットする

下記の設定項目で変更した内容を取り消して、変更前の状態に戻します。

バックライト

画面の明るさを調節します。省電力の設定（P.50）が有効になっているときは変更できません。

明るさ

映像の明るさを調節します。

コントラスト

映像の陰影を調節します。

シャープネス

映像の輪郭の鮮明さを調節します。

色の濃さ

映像の色の濃さを調節します。

色あい

映像の色あいを調節します。肌色をきれいに表示したい場合はこの項目で調節します。

色温度

映像の色調を調節します。

画面サイズの切換

番組によって放送局から送信される映像そのもののサイズが異なります。お好みに応じて、画面に表示するサイズを切り換えることができます。

を押す

画面サイズ を選ぶ

設定画面が表示されます。

画面サイズを選ぶ

視聴中の番組を見ながら で選んでください。

設定項目について

スタンダード／ノーマル

受信した映像をそのままのサイズで表示します。4:3 の映像には左右に帯が付きます。

ズーム

16:9 の映像を横方向に引き伸ばして表示します。

HD 拡大／ SD 拡大

縦横比を維持したまま映像を拡大して表示します。映像の周囲が画面に表示されません。

スーパーフル／フル

画面に合わせて映像を表示します。4:3 の映像は左右に引き伸ばされます。

※ 番組によっては、上記の通りに表示されない場合があります。

※「16:9」「4:3」とは、画面の横と縦の長さの比率を表します。

※ 放送波、映像の解像度、オートワイド設定によって選択できる画面サイズが異なります。

※ ワンセグ放送の場合は映像の解像度に関係なく、画面の表示比率を「100% → 50% → 25%」に切り換えます。

オートワイド設定

映像を自動的に適切な画面比率で表示します。
（視聴する番組によって表示が異なります）

ホーム を押して 設定 を選ぶ

▼

映像設定 を選ぶ

▼

オートワイド設定 を選ぶ

▼

設定画面が表示されます。

▼

設定対象 で変更する対象を選ぶ

［共通］にすると、他で［共通］を選んだ放送波や入力のオートワイド設定も同時に変更されます。

▼

オートワイド を 入 にする

音声の設定

音質の設定

音質の設定は、用途に応じて用意されている[音声モード]でお好みのモードを選ぶか、高音や低音などを個別に設定することで調節します。

音質を変更する入力に切り換える

音声設定 を選ぶ

音質設定 を選ぶ

設定画面が表示されます。

設定対象 で変更する対象を選ぶ

［共通］にすると、他で［共通］を選んだ放送波や入力の音質も同時に変更されます。

音声モード でモードを選ぶ

番組の音声を聞きながら ▲▼ で選んでください。

必要に応じて音質を調整する

音質調整の項目を選ぶと設定画面が表示されます。また、調整後は音声モードが［ユーザー］として登録されます。

音声モードの切り換え方法

 で変更してから 決定 を押します。

スタンダード

元の音声を忠実に再現します。

ミュージック

高音と低音が強調されます。音楽を聴くときに適しています。

シアター

音の広がりが増します。映画を観るときに適しています。

ユーザー

設定項目を個別に調節した場合はこちらを選んでください。

音質の調整方法

 で変更してから 決定 を押します。

設定をリセットする

下記の設定項目で変更した内容を取り消して、変更前の状態に戻します。

高音

音の高さを調節します。

低音

音の低さを調節します。

バランス

左右のスピーカーの音量バランスを調節します。

サラウンド設定

音声の出力方法を変更して、臨場感のある音声で楽しむことができます。

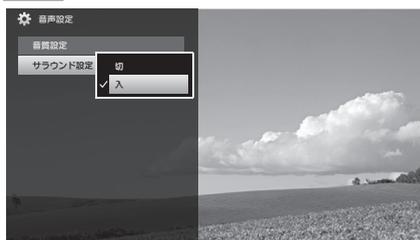
▼

音声設定 を選ぶ

▼

サラウンド設定 を選ぶ

▼

入 を選ぶ

番組によっては音声が変化しない場合があります。

受信の設定

受信レベルの確認

映像が表示されていないときや、アンテナの向きを調整するときに、チャンネルごとの受信状態を確認します。

受信レベルを確認したいチャンネルに切り換える

▼

▼

機器設定 を選ぶ

▼

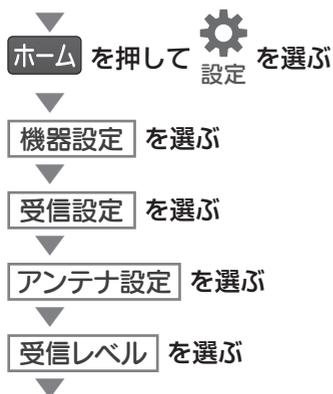
受信設定 を選ぶ

▼

アンテナ設定 を選ぶ

▼

受信レベル を選ぶ

▼

受信レベルが表示されます。

「現在」の数値が何 % かを確認してください。また、この画面の表示中は電子音(ビープ音)が鳴ります。

※ 50%以上が正常に視聴できる目安です。

※［チャンネル］を選んで 決定 を押すと、受信レベルを確認するチャンネルを変更できます。

ビープ音とは？

現在の受信状態を音で知らせる機能です。アンテナの設置時に、離れた場所から受信状態を確認するときに使用します。
受信レベル 50% を境に高い音に切り換わるので、音の変化を目安にアンテナを調整してください。

チャンネルの再設定（チャンネルスキャン）

チャンネルスキャンは、引越しなどで受信する地域が変わったり、チャンネルスキャンに失敗したときなどに行います。スキャン完了まで時間がかかるため、時間に余裕があるときに行ってください。

▼

機器設定 を選ぶ

▼

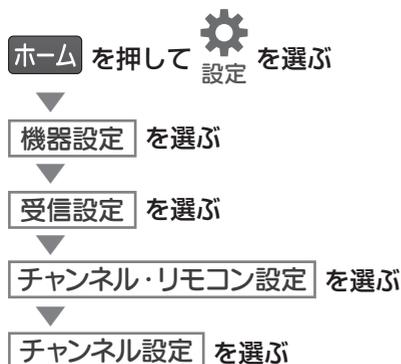
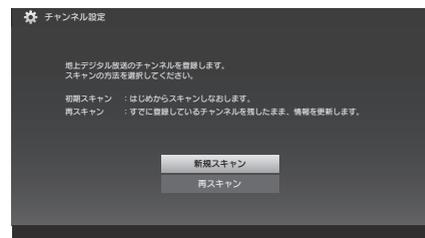
受信設定 を選ぶ

▼

チャンネル・リモコン設定 を選ぶ

▼

チャンネル設定 を選ぶ

▼

チャンネルのスキャン方法を選ぶ

新規スキャン

すでに登録しているチャンネルや番組表情報を消去して、はじめからチャンネルスキャンを行います。

再スキャン

すでに登録しているチャンネルに情報を追加・更新します。

▼

必要に応じてチャンネルを割り当てる

スキャンが完了するとリモコンボタン割り当ての設定画面が表示されます。くわしい操作方法は右記を参照してください。現在の割り当てでよければ［完了］を選びます。

リモコンボタン割り当ての操作方法

設定の前に、どのボタンにどのチャンネルを割り当てるかを決めましょう。

▼

リモコンボタンの 1 ～ 12 のうち、チャンネルの割り当てを変更したい番号を選びます。

▼

割り当てるチャンネルを選びます。

▼

すべてのチャンネルの割り当てができたら **完了** を選びます。

電源の設定

電源の切り換え

本機の電源をバッテリー駆動にしたり、バッテリーパックを充電するときに切り換えます。

ホーム を押して 設定 を選ぶ

▼

便利な機能 を選ぶ

▼

電源切換 を選ぶ

▼

電源 を選ぶ

▼

目的の項目を選ぶ

ACアダプター

ACアダプターで駆動します。バッテリーパックを本体に付けている場合は、充電が開始されます。

バッテリー

バッテリーパックまたは乾電池で駆動します。こちらを選んだ場合は、省電力の設定が自動的に［入］に切り換わります。画面が暗くて見にくい場合は P.50 の手順で変更してください。

- 切り換えられない場合は、ACアダプターまたはバッテリーを本体に取り付けているかを確認してください。
- リモコンボタンの 電源切換 でも行えます。

バッテリー使用時間帯

指定した時刻に､本機をバッテリー駆動に切り換えます。

ホーム を押して 設定 を選ぶ

▼

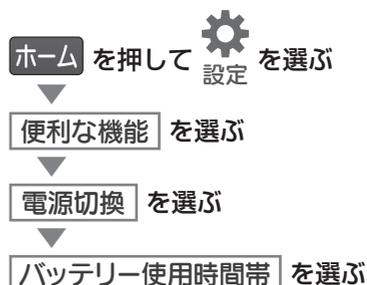
便利な機能 を選ぶ

▼

電源切換 を選ぶ

▼

バッテリー使用時間帯 を選ぶ

▼

設定画面が表示されます。

▼

時間指定 を 入 にする

▼

電源を切り換える時間を設定する

最大 2 時間まで設定できます。

▼

完了 を選ぶ

設定が適用されます。

▼

設定した時刻になると、バッテリー駆動に切り換わります。

バッテリーパックまたは乾電池を本体に取り付けていない場合は、設定は無効になります。

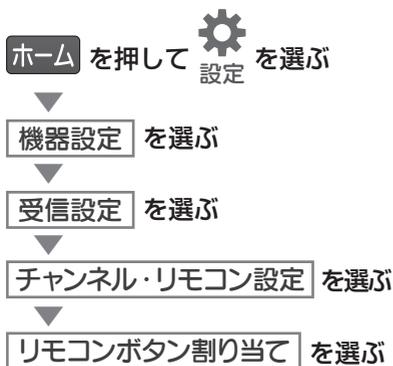
機器の設定

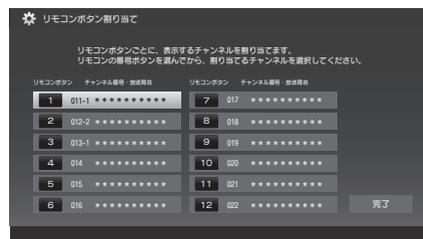
リモコンボタンの割り当て変更

リモコンの番号ボタンにお好きな放送局を割り当てることができます。

機器設定 を選ぶ

受信設定 を選ぶ

チャンネル・リモコン設定 を選ぶ

リモコンボタン割り当て を選ぶ

設定画面が表示されます。

リモコンボタンにチャンネルを割り当てる

くわしい操作方法は右記を参照してください。

完了 を選ぶ

割り当ての変更が確定します。

リモコンボタン割り当ての操作方法

設定の前に、どのボタンにどのチャンネルを割り当てるかを決めましょう。

リモコンボタンの 1 ～ 12 のうち、チャンネルの割り当てを変更したい番号を選びます。

割り当てるチャンネルを選びます。

すべてのチャンネルの割り当てができたら **完了** を選びます。

入力の名称を変更する

入力切換 を押したときに表示される名称を、接続している機器の種類に合わせて変更することができます。

ホーム を押して 設定 を選ぶ

▼

機器設定 を選ぶ

▼

外部機器設定 を選ぶ

▼

機器名称登録 を選ぶ

▼

ビデオ入力 を選ぶ

▼

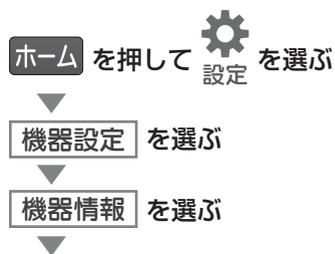
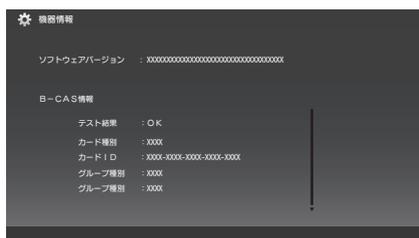
以下のいずれかの名称を選びます。

- ビデオ
- DVD
- BD（ブルーレイ）
- ゲーム
- VHS
- HDD レコーダー
- ケーブル TV

機器情報の確認

本機のソフトウェアバージョン、miniB-CAS カードの情報を確認します。

機器設定 を選ぶ

機器情報 を選ぶ

機器情報が表示されます。

ソフトウェアバージョン

本機に内蔵されているソフトウェアのバージョンです。

B−CAS情報

miniB-CAS カードのカード ID などの情報です。

初回設定のやり直し

本機のお買い上げ後、最初に行った設定(はじめて設定)をやり直すことができます。

▼

機器設定 を選ぶ

▼

▼

設定画面が表示されます。

▼

地域の郵便番号を入力する

▼

▼

都道府県域 を選ぶ

▼

開始 を選ぶ

チャンネルスキャンが開始されます。

▼

スキャンが完了すると映像モード設定画面が表示されます。

▼

映像モード を選ぶ

▼

完了 を選ぶ

郵便番号の入力方法

- 数字は 1 ～ 10 で入力します。
- 「0」を入力するには 10 を押してください。
- 誤って入力した場合は ◀ ▶ で修正箇所に移動してから再入力してください。

はじめて設定がうまくいかない

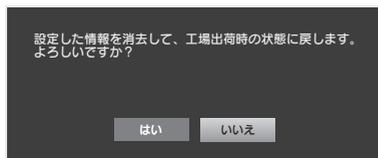
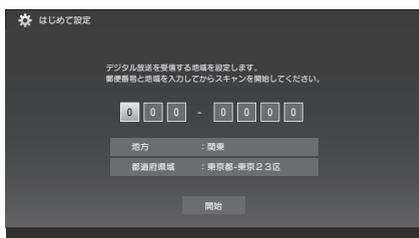
チャンネルのスキャンに失敗したり、設定が完了したあとに映像が表示されない場合は、本機の接続を正しく行っているかを見直してください。
特にケーブル類がしっかりとささっているかをよく確認してください。

本機の設定を初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。チャンネル情報や番組表、すべての設定項目が消去されます。

機器設定 を選ぶ

設定初期化 を選ぶ

初期化の確認メッセージが表示されます。

本機が初期化されます。初期化が完了するとはじめて設定画面が表示されます。くわしくはP.43 を参照してください。

バッテリーをご使用の前に

連続使用時間について

種類	使用可能時間	充電時間
バッテリーパック	約 2 時間	約 6 時間
充電式電池 （ニッケル水素電池）	約 2 時間 （容量 1900mAh の eneloop を使用時）	本機では充電できません。使用する充電式電池および充電器の取扱説明書の指示にしたがってください。
アルカリ乾電池	約 1 時間	本機では充電できません。

※ バッテリーパックおよび乾電池が満充電の状態で使用した場合の目安です。使用する環境や本機の設定によって、実際に使える時間や充電にかかる時間が異なります。

※ 使用可能時間は下記の条件で使用した場合の時間です。
環境温度 : 25℃、接続機器 : ヘッドホン、本機の設定 : 省電力が有効

※ マンガン乾電池は使用できません。

※ eneloop を使用する場合は、eneloop および eneloop 専用充電器の取扱説明書をよくお読みください。

バッテリーパック／乾電池の取り扱いについて

- 使用および充電中は、バッテリーパックが熱くなる場合があります。
- 充電した電力をすべて使い切らないうちに充電（継ぎ足し充電）をくり返すと、バッテリーの残量が正しく認識されず、使用可能時間が短くなる場合があります。この場合、バッテリーパックの残量がなくなるまで使い切ってから充電すること（充放電）をくり返すと改善されます。
- バッテリーパックを長期間使用しないときでも、劣化を防ぐため定期的に充放電することをおすすめします。
- バッテリーパックの端子部分が汚れたら、乾いた布できれいにしてください。接触が悪いと通電しない場合があります。
- 本機で乾電池および充電式電池の充電はできません。

安全な使用のため、以下の点を守って正しく使用してください。
（P.4 もあわせて確認してください）

- **直射日光が当たる場所や極端に温度が高くなる場所で使用・保管しない。**
- **使用しないときは本体から取り外す。**
- **液漏れした乾電池を使用したり、違う種類および新旧の乾電池を混ぜて使用しない。**

※ バッテリーパックは消耗品です。使用時間が大幅に短くなった場合は、別売のバッテリーパックと交換してください。（P.71）

バッテリー電源で使う

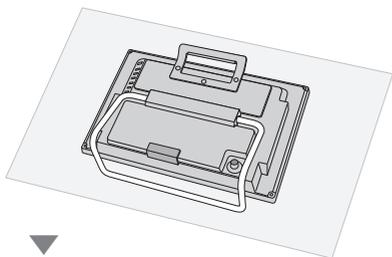
バッテリーパック／乾電池の取り付け

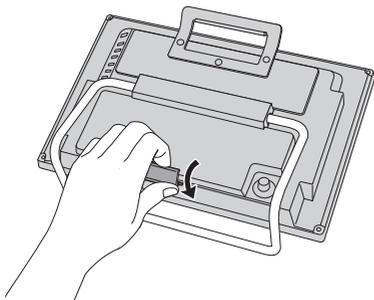
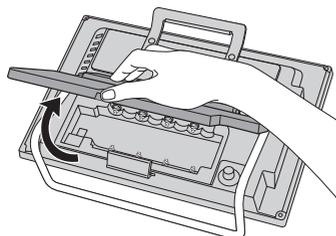
本体にバッテリーパックまたは乾電池を取り付けます。

1

ケーブル類をすべて抜いてから、背面を上に向けて静かに置く

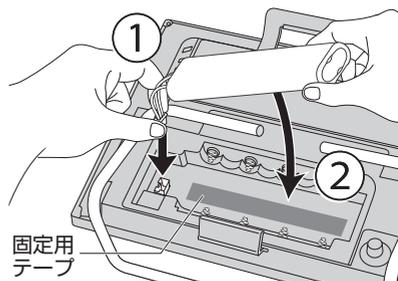
やわらかい布などを敷いて、画面が傷つかないようにしてください。

▼

フックをはずす

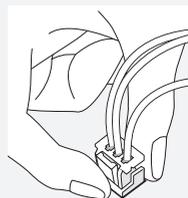
▼

カバーを開ける

2

バッテリーパックの場合

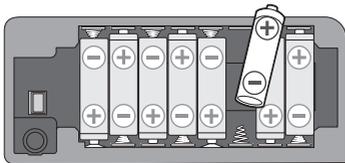
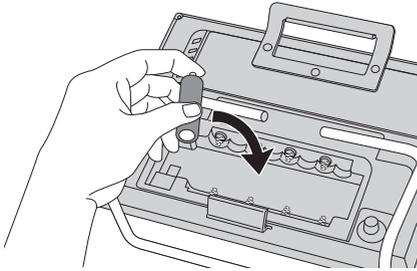
コネクタをさし込んでから、本体にはめ込む

本体側とバッテリーパックの固定用テープが向き合うようにはめ込んでください。

取り付け／取り外しについて

バッテリーパックを取り付けるときは、コネクタの向きに注意して正しい方向でさし込んでください。

取り外すときは、コネクタのツメをつまんでから引き抜いてください。

3

乾電池の場合

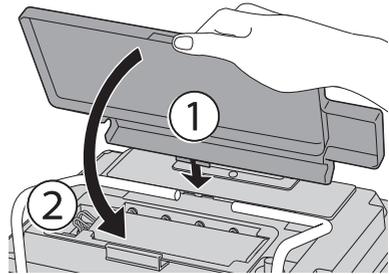
単 3 形乾電池を 8 本入れる

※ ＋、－の向きに注意してください。

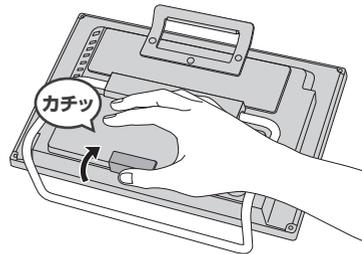
※ マンガン電池は使用できません。

液漏れした乾電池を使用したり、違う種類および新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。

液漏れや異常な発熱の原因になるおそれがあります。

ツメをさし込んでから、カバーを閉める

▼

フックを閉める

▼

ケーブル類を付けなおす

▼

バッテリー駆動に切り換える

本機の［電源切換］を［バッテリー］に切り換えるとバッテリーパックまたは乾電池で使用できます。（P.49）

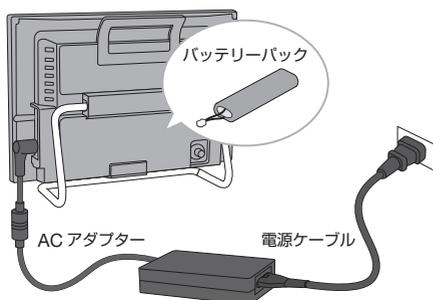
なお、バッテリーパックの残量がない場合は、充電する必要があります。AC アダプターを接続してから、電源を［AC アダプター］に切り換えてください。（P.48）

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックの電源残量がなくなったら、本機で充電します。
P.45 の注意事項もあわせて確認してください。

充電の準備をする

- □ バッテリーパックを取り付ける
- □ AC アダプターと電源ケーブルを接続する

▼

電源切換 を押して ACアダプター にする

▼

バッテリーランプがオレンジ色に点灯し、充電が開始されます。LED が消灯したら充電完了です。

充電時間について

バッテリーパックの充電は約 6 時間かかります。（時間は目安です）

充電中に表示されるマーク

バッテリーパックの充電中は、番組詳細画面（P.18）で マークが点滅します。

このマークが に変わると充電完了です。

充電が開始されないとき

以下を確認してください。

- AC アダプターは接続されていますか？
- バッテリーパックは正しく接続されていますか？（P.46）
- バッテリーパックの端子部分が汚れていませんか？乾いた布できれいにしてください。
- すでに充電が完了していませんか？電源を［バッテリー］に切り換えてから、画面表示 を押してバッテリー残量を確認してください。

電源をバッテリーに切り換える

本機をバッテリー駆動に切り換えます。
バッテリーパックまたは乾電池を本体に取り付けておいてください。
また、P.45 の注意事項もあわせて確認してください。

電源切換 を押して バッテリー にする

▼

バッテリーランプが赤色に点灯し、バッテリー駆動に切り換わります。

※ このとき、［省電力］も自動的に［入］になり、画面が少し暗くなります。（画面が暗くて見にくい場合は P.50 の手順で設定を［切］に変更してください）

バッテリーの残量

バッテリーパックおよび乾電池の電池残量については、番組詳細画面（P.18）に表示される マークを目安にしてください。
 になると自動的に電源が切れる可能性があります。予備の乾電池を準備するか、バッテリーパックを充電してください。

電源を切り換えられない

バッテリー残量がないことが考えられます。
バッテリーパックの場合は本機で充電してください。（P.48）乾電池の場合は、新しい乾電池を入れてください。

バッテリー駆動中は…

以下の機能が制限されます。

- クイック起動（P.22）の設定が無効になります。
- 番組表の自動取得機能が無効になります。P.24 の手順で取得してください。
- 最大音量が制限されます。

また、電源を切っていてもバッテリーパックおよび乾電池の電力は消費されます。使用しないときは取り外しておいてください。

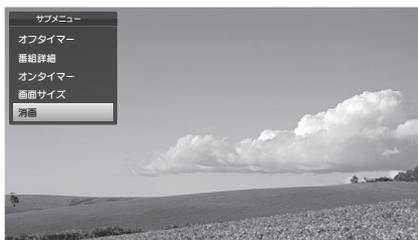
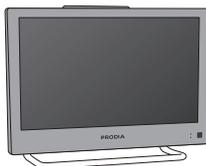
消費電力をおさえる使い方

番組の音声だけを聴く（消画）

映像の表示を消して、番組の音声のみを聴くことができます。

▼

消画 を選ぶ

▼

画面が消えて、音声だけが出力されます。

消画中は音量調節のみできます。
音量調節以外の操作をすると、消画が解除され映像が表示されます。

画面の明るさを抑える

バックライトの明るさを抑えて、消費電力を節約します。画面が少し暗くなります。

▼

便利な機能 を選ぶ

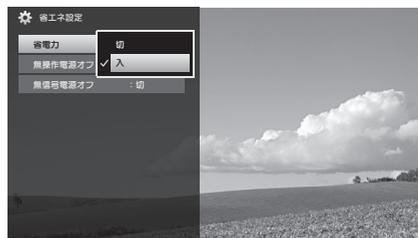
▼

省エネ設定 を選ぶ

▼

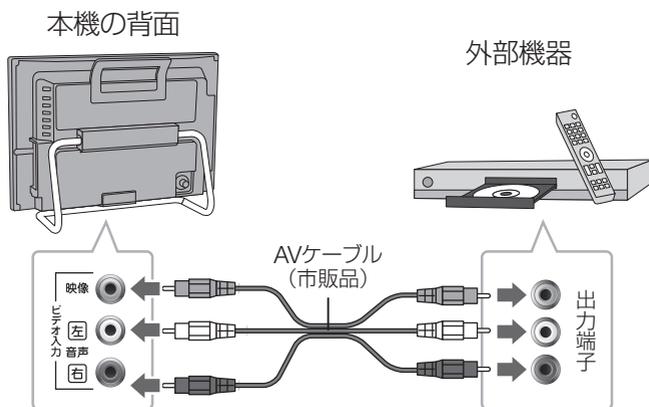
省電力 を選ぶ

▼

入 を選ぶ

映像にメリハリをつけるなど、画質を変更する場合は P.30 を参照してください。

外部機器との接続

本機と外部機器は AV ケーブルで接続できます。接続する機器の取扱説明書を確認のうえ、正しく接続してください。

※ 接続する機器によっては正常に動作しない場合があります。また、正しく接続しているのに画面が表示されなかったり、音声が出ない場合は機器のメーカーにお問い合わせください。

端子とケーブルの色を合わせて接続してください。

接続した機器の映像を表示するとき

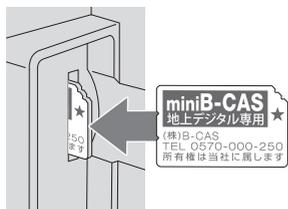
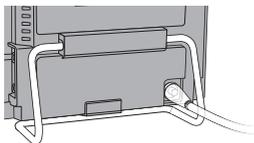
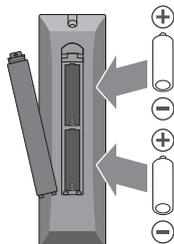
本機の電源を入れてから 入力切換 を押して、接続した機器の入力に切り換えます。
接続した機器の電源が入っていない場合や、映像の表示が停止されている場合などは、画面に何も表示されませんので注意してください。

※ 入力切換 を押したときに表示される名称を、接続している機器の種類に合わせて変更することもできます。（P.41）

こまったときは？

接続を完了したのに、番組が表示されない原因を探す

下記が正しく行われているか、もう一度確認してください。

■ miniB-CAS カードは正しい方向でさし込まれていますか?

■ 壁面のアンテナ端子は地上デジタル放送ですか?
また、アンテナ線の接続にゆるみなどはないですか?

■ リモコンの電池は正しい向きで入っていますか?

Q.電源は入りますか?
（電源ランプは緑色に点灯していますか?）

はい　いいえ

Q.受信方法はどちらですか?

屋外アンテナ　ケーブルテレビ

Q.アンテナは地上デジタル放送に対応していますか?

はい　いいえ

地上デジタル放送に対応したUHF アンテナの設置が必要です。くわしくは、電器店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

Q.受信レベルを確認してください
（P.37 の手順で確認できます。）

50% 以上　50% 未満

本機をお買い上げいただいた店舗、または弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

電源ケーブルの接続、バッテリーの取り付けや残量に問題がないかを確認してから本体の電源ボタンを押してください。
Q.アンテナ線は、ケーブルテレビの壁面端子から直接本機に接続していますか?
はい
いいえ
ケーブルテレビチューナーを経由するときは、チューナーの映像・音声出力端子と本機の入力端子を対応するケーブルで接続してください。（P.51）
※接続後は本機の入力切換で接続した入力に切り換えて視聴してください。また、チャンネルの切り換えなどはケーブルテレビチューナーのリモコンで行います。
※チューナーのアンテナ出力端子から本機の入力端子に接続する場合は、ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。
Q.ケーブルテレビの放送方式は?
パススルー方式
パススルー以外／わからない
受信場所や天候、アンテナ線の劣化や電波障害などが原因による受信不良が考えられます。
本機はパススルー方式対応です。その他の方式には対応していません。
放送方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合せください。

電源について

電源ランプが消灯・赤色のままで電源が入らない。

- 電源ケーブルと AC アダプターが、しっかり接続されているかを確認してください。
- バッテリー駆動の場合、バッテリーを正しく取り付けているかを確認してください。それでも改善されない場合はバッテリーの問題が考えられます。
- リモコンで電源が入らない場合は、本体側面の電源ボタンを押してください。電源が入る場合はリモコンの問題が考えられます。

電源ランプが点灯しているのに画面が真っ暗。

- mini B-CAS カードが挿入されているか確認してください。また、挿入方向にも注意してください。
- 外部機器の入力に切り換わっているときは、画面に何も表示されない場合があります。 入力切換 を押して、入力を「地上デジタル」にしてください。
- チャンネルスキャンが正常に行われていない可能性があります。もう一度、チャンネルスキャンを行ってください。（P.38）
- 消画中は ◀▲▼▶ を押して解除してください。
- バッテリー駆動の場合、残量がないことが考えられます。電源ケーブルと AC アダプターを接続して本機が正常に使用できることを確認してください。引き続き、バッテリー駆動で使用するには、バッテリーパックを充電するか新しい乾電池と交換してください。

電源ランプが赤色に点滅する。

ソフトウェアの更新中は電源ランプが赤色に点滅します。故障ではありません。

※ デジタル放送では放送波を通じて、テレビ内部のソフトウェアを更新する場合があります。また、ソフトウェアの更新中は本機の操作ができません。更新が完了するまでお待ちください。

電源が勝手に切れた。

- 電源ケーブルとＡＣアダプターが奥までしっかりささっているかを確認してください。
- バッテリー駆動の場合、残量がなくなった可能性があります。バッテリーパックを充電するか、新しい乾電池と交換してください。
- ［オフタイマー］が働いた可能性があります。（P.21）
- ［無操作電源オフ］を［入］にしていると、3 時間以上何も操作しなかった場合に電源が切れます。（P.21）
- ［無信号電源オフ］を［入］にしていると、放送波や外部入力信号が 10 分以上ないときに自動的に電源が切れます。（P.21）

電源を入れてもすぐに映像が表示されない。

内部処理のため時間がかかる場合があります。本機の［クイック起動］を［入］にすると、起動時間を短縮することができます。（P.22）ただし、待機中の消費電力が上がります。

テレビ本体や付属品について

テレビ本体が熱くなる。

- 本体内部から発生する熱を逃がすため、本体が熱くなる場合があります。
- バッテリーパックの使用および充電中は、熱くなる場合があります。

リモコンでの操作ができない。

- リモコンは本機の受光範囲内（P.14）で操作してください。また、本機のリモコン受光部の前に障害物があると、反応しない場合があります。
- リモコンの電池が消耗すると反応しない場合があります。電池を交換してみてください。
- リモコンの電池が正しくセットされているか確認してください。
- お買い上げ時から本体に貼られている、液晶の保護シートを剥がしてください。

mini B-CAS カードを紛失／破損／汚損してしまった。

B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター
【電話】0570-000-250
【IP 電話】045-680-2868
10：00 ～ 20：00（年中無休）

【ホームページ】http://www.b-cas.co.jp/

アンテナ線が入っていない。

本製品にアンテナ線は付属していません。アンテナ線は F 型コネクタのついたものを準備してください。

乾電池が入っていない。

本製品にはリモコン用の単 4 形乾電池（2 本）が付属しています。本体用の単 3 形乾電池（8 本）は別途準備してください。

バッテリーパック／乾電池について

バッテリー電源で何時間ぐらい使えますか?

バッテリーパックや使用する乾電池の種類によって異なります。くわしくは P.45 を参照してください。

バッテリーパックの充電にはどれぐらい時間がかかりますか?

約 6 時間です。（時間は目安です）
また、充電の完了後すぐにバッテリーパックを使用しないときは、本体から取り外しておいてください。

バッテリー残量はどこで確認できますか?

画面表示 を押して、画面右上に表示されるアイコンを目安にしてください。（P.18）

電源を［バッテリー］に切り換えると画面が暗くなる。

バッテリー駆動にすると、［省電力］が自動的に［入］に切り換わり、画面が通常より暗くなります。この設定は P.50 の手順で変更できます。

※［省電力］が［入］になっていると、画質設定の「バックライト」も無効になります。

バッテリーパックを充電できない。

P.48 の手順を行っているかを確認してください。それでもできない場合は以下を参考にしてください。

- バッテリーパックは正しく接続されていますか？（P.46）
- バッテリーパックの端子部分が汚れていませんか？乾いた布できれいにしてください。
- すでに充電が完了していませんか？電源を［バッテリー］に切り換えてから、画面表示 を押してバッテリー残量を確認してください。

充電しても、すぐにバッテリー残量がなくなって使えなくなる。

- 充電は正しく行っていますか？ P.48 の手順を確認してください。
- 長期間バッテリーパックを使用しなかった場合、十分に充電されないことがあります。この場合はバッテリーパックの残量がなくなるまで使い切ってから充電すること（充放電）をくり返すと改善されます。
- 充電した電力をすべて使い切らないうちに充電すること(継ぎ足し充電）をくり返すと、バッテリー残量が正しく認識されず、使用可能時間が短くなる場合があります。この場合は、バッテリーパックの残量がなくなるまで使い切ってから充電すること(充放電）をくり返すと改善されます。
- 正常に充電しても短時間しか使用できない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。この場合は使用を中止して、別売のバッテリーパックをお買い求めください。（P.71）

充電式の乾電池を本機で充電できますか?

充電できません。専用の充電器で充電してください。

使い終わったバッテリーパックはどのようにすればよいですか?

最寄の充電式電池リサイクル協力店の「小形充電式電池リサイクル BOX」に入れてください。なお、バッテリーパックの端子部分はビニールテープなどで絶縁しておいてください。

リサイクル協力店は下記の URL で検索するか、お買い上げ店にお問い合わせください。
一般社団法人 JBRC　ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/

バッテリーパックを追加で購入することはできますか?

別売のバッテリーパックが発売されています。
くわしくは P.71 を参照してください。

受信について

チャンネルスキャンがいつも失敗する。

- お住まいのアンテナやアンテナ線の接続を確認してください。アンテナ線を分波／混合している場合は正しく行われているか確認してください。
- 対応のアンテナが設置されていない場合や、ご使用の地域の電波状況が悪い場合はチャンネルスキャンに失敗します。

すべてのチャンネルが映らない。

- お使いになる地域が地上デジタル放送の受信エリアであるかどうかを確認してください。ワンセグ放送の場合は、受信エリアであっても電波の弱い地域や障害物のある場所では受信が不安定になり、映らない場合があります。
- 本機にアンテナ線が正しく接続されているか確認してください。
- お住まいのアンテナを確認してください。地上デジタル放送の受信には UHF アンテナの設置が必要です。
- アンテナの向きによっては受信しにくい場合があります。アンテナを調整する場合は、専門業者にお問い合わせください。共同アンテナをお使いの場合や、マンションにお住まいの場合は、管理者または管理会社にお問い合せください。
- チャンネルスキャンが正常に行われていないか、失敗している可能性があります。もう一度、チャンネルスキャンを行ってください。（P.38）

特定のチャンネルが映らない。

- 映らないチャンネルの受信レベルを確認してください（P.37）。50％以下のときは、正常に受信できない場合があります。
- 悪天候などの影響で一時的に受信できなくなる場合があります。
- 常に受信状態が悪かったり、アンテナ線を分配している場合は、ブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。
- 地上デジタル放送の中継局が変更されている可能性があります。この場合、アンテナの向きの調整によって改善されることがあります。くわしくはアンテナメーカーや電器店などにお問い合わせください。

引越しや遊びに出かけるなど、他県へ移動したら映らなくなった。

受信する地域が変わった場合はチャンネルの再設定が必要です。チャンネルスキャン（P.38）を行ってください。

※ 他県へ移動していなくても、地上デジタル放送の中継局が変更されている可能性があります。

映像が乱れる・止まる。

- 放送中の画面を静止していることが考えられます。静止 を押して現在の画面に戻ってください。
- ワンセグ放送を視聴中の場合は、地上デジタル放送に切り換えてください。
- 天候の影響により、映像が乱れることがあります。
- アンテナの向きが変わっていたり、アンテナの故障が考えられます。アンテナを確認してください。
- アンテナ線の接続がゆるい場合や、アンテナ線のプラグの中にある芯線が折れていたりすると映像が乱れます。アンテナ線の接続を確認してください。
- 本機が通電状態のときに mini B-CAS カードを抜きさしすると映像が止まります。この場合、電源プラグをコンセントから抜き、mini B-CAS カードをさし直してから電源を入れてください。

停電時に地上デジタル放送が映らない。

アンテナにブースター（増幅器）が設置されている場合、停電でブースターに電力が供給されていないため、映りが悪かったり、映らないときがあります。付属のワンセグアンテナを接続して、入力をワンセグ放送に切り換えてください。（P.28 ～）

ワンセグ放送で見られるチャンネルが地上デジタル放送で映らない。

ワンセグ放送は携帯電話や移動端末用のサービスのため、微弱な電波でもチャンネルを受信できます。一方、地上デジタル放送はワンセグ放送よりも強い電波を必要とするため、チャンネルによっては映らない場合があります。

ワンセグアンテナを使用中に受信が安定しない・映らない

- 受信レベルが低下していませんか？ P.29 を参考にしてワンセグアンテナの設置場所を変更してください。
- 受信する地域が変更された可能性があります、チャンネルスキャンを行ってください。受信レベルによってはすべてのチャンネルを登録できない場合があります。

ケーブルテレビに加入している場合の接続方法は？

【ケーブルテレビチューナーを経由する場合】
ケーブルテレビチューナーの映像・音声出力端子と本機の入力端子を対応するケーブルで接続してください。

※ 接続後は本機の入力切換でケーブルテレビチューナーに接続した入力に切り換えて視聴してください。また、チャンネルの切り換えなどはケーブルテレビチューナーのリモコンで行います。

※ ケーブルテレビチューナーのアンテナ出力端子から本機の入力端子に接続する場合は、ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。

【ケーブルテレビチューナーを経由しない場合】
ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。壁面のケーブルテレビのアンテナ端子から本機のアンテナ入力端子につないでください。

チャンネルについて

選局できない番号ボタンがある。

チャンネルが割り当てられていない番号ボタンは反応しません。リモコンボタンにお好きなチャンネルを割り当てることもできます。（P.40）

チャンネルの切り換えに時間がかかる。

受信した信号を画面上に表示するための処理が必要なため、チャンネルや入力の切り換えに時間がかかる場合があります。

データ放送が表示されない。

- データ放送に対応していない番組では表示されません。
- チャンネルを切り換えた直後などは、データの読み込みに時間がかかる場合があります。
- ワンセグ放送はデータ放送に対応していません。
- 本製品はデータ放送の双方向サービスには対応していません。

画面表示

チャンネル番号が画面から消えない。

画面表示 を押すと表示が消えます。

ホーム画面が消えない。

ホーム を押すと表示が消えます。

画面が暗くて見えにくい。

［省電力］が［入］のときは画面が通常より暗くなります。設定を［切］に変更してください。(P.50)

※ バッテリー駆動中は自動的に［省電力］が［入］になります。

映りがよくない。

- 天候の影響により、一時的に映像が乱れることがあります。天候に関係がない場合は、映らないチャンネルの受信レベルを確認してください (P.37)。受信レベルが50%以下のときは、正常に受信できない場合があります。
- 画面の視野角 (P.14) の範囲内で画面を見てください。

見る角度によって画面が白くて映像が見えない。

見上げたり、見下ろしたり、真横から見たりするような角度では映像がきれいに見えません。画面の視野角 (P.14) の範囲内で視聴できるように本機を設置してください。

番組によって映像の縦横のサイズが切り換わる。

- 送られてくる映像そのものの縦横比が、4:3 の場合や 16:9 の場合があります。また、一見 4:3 の映像のようでも、16:9 の映像の左右に帯をつけて 4:3 の映像に見せている場合など、番組によって見え方が異なるため、番組が変わるごとに表示が切り換わっているように見えることがあります。
- 画面サイズ (P.32) を変更することで、映像に適した表示に切り換えることができます。
- 本機の［オートワイド設定］(P.33) を［入］にすると、自動的に適切な画面サイズに切り換えることができます。

音声について

音が出ない。

- 音声が極端に小さかったり、消音になっている可能性があります。
- ヘッドホンやスピーカーを接続していて音声が出ない場合は、それらのケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ヘッドホンを接続したが音が出ない。

接続する端子に間違いがないか確認してください。（P.15）

※ コントロール機能があるヘッドホンやイヤホンは使用できない場合があります。

番組内で音声が切り換わらない。

番組が複数の音声で放送されていない場合、音声の切り換えはできません。

番組表について

番組表に何も表示されない。
または、番組情報が表示されない放送局がある。

- お買い上げ直後などは、番組表に情報が表示されない場合がありますので、P.24の方法で番組表の情報を取得してください。
- 番組表は 1 日に 1 回、本機が待機状態のときに自動的に更新されます。また、1 つのチャンネルを一定時間見ることで､その放送局の番組表を取得することができます。
- ワンセグ放送の場合は番組を数秒間、視聴することで番組表を取得します。（各放送局 10 番組まで）

同じ放送局でチャンネルが複数ある。

- デジタル放送では、1 つの放送局に複数のチャンネルを割り当てられているため、放送局が同じでも同一時間帯に異なる番組が放送される場合があります。
- 番組表の表示を 1 局 1 チャンネルに切り換えることもできます。（P.26）

エラーメッセージ一覧

本機で表示される主なエラーメッセージとその原因です。50 音順に並んでいます。

	メッセージ	メッセージが表示された理由
あ行	オフタイマーにより、まもなく電源が切れます。	［オフタイマー］（P.21）を設定した場合、その実行前に表示されます。
か行	この信号には対応していません	本機が対応していない外部機器が接続されているため。
	このチャンネルは放送されていません。（E203）	放送局が番組を放送していないため。
	このチャンネルは存在しません。（E204）	• 受信環境が悪く、チャンネルスキャンが正常に行えなかったため。 • 放送されていないチャンネルを選局したため。
	このデータは受信できません。（E401）	本機が対応していないデータを受信したため。
	このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていないボタンを押したため。
さ行	時刻情報がありません。 デジタル放送を視聴して、時刻情報を取得してください。	本機に時刻情報がない状態で、オンタイマーを設定しようとしたため。時刻情報はデジタル放送を 30 秒以上視聴すると取得できます。
	受信できるチャンネルが見つかりませんでした。 アンテナ線の接続や受信状況を確認して、再度スキャンを実行してください。	• アンテナ線の接続に問題があるため。お住まいのアンテナやアンテナ線の接続を確認してください。また、アンテナ線の分波／混合にも注意してください。 • 電波状況が悪いため。アンテナの向きを調整したり、ブースター（増幅器）を設置することで受信できる場合があります。

	メッセージ	メッセージが表示された理由
た行	チャンネルが存在しないか、放送されていません。	視聴中のチャンネルでワンセグ放送の番組が放送されていないため。
	データの表示に失敗しました。(E402)	データの受信には成功したものの、データそのものに問題があり表示できないため。
	データを受信できません。(E400)	データを受信できないため。 チャンネルを再選局してから再度 dデータ を押してください。
な行	入力信号がありません。機器の接続を確認してください。	外部入力の画面で、外部機器からの信号がないため。 外部機器の電源や接続を確認してください。
は行	バッテリーの残量がないため切り換えられません。	乾電池の残量がなくなったため。新しい乾電池を入れてください。
	放送を受信できません。(E202) ワンセグに切り換えると視聴できる場合があります。	地上デジタル放送を視聴中に、アンテナ線の接続不良が原因で正常に受信できないため。
	放送を受信できません。 受信環境を確認してください。(E202)	ワンセグ放送を視聴中に、アンテナ線の接続不良が原因で正常に受信できないため。
ま行	無操作電源オフにより、まもなく電源が切れます。	[無操作電源オフ](P.21)が[入]の場合、その実行前に表示されます。
	無信号電源オフにより、まもなく電源が切れます。	[無信号電源オフ](P.21)が[入]の場合、その実行前に表示されます。

設定項目一覧

映像設定		
画質設定	画質を設定します。	P.30
オートワイド設定	元の映像のサイズにかかわらず、映像を画面いっぱいに表示します。	P.33

音声設定		
音質設定	音質を設定します。	P.34
サラウンド設定	臨場感のある音声にします。	P.36

機器設定				
受信設定	**チャンネル・リモコン設定**	**チャンネル設定**	チャンネルスキャンを行います。	P.38
		リモコンボタン割り当て	リモコンの番号ボタンにお好みのチャンネルを割り当てます。	P.40
		チャンネル自動更新	放送局の新設や周波数の変更に対して自動的に周波数を合わせます。この設定は、工場出荷時から［入］で設定されています。	ー
	アンテナ設定	**受信レベル**	チャンネルごとの受信状態を確認します。	P.37
	郵便番号設定		データ放送で表示する地域情報を郵便番号で指定します。	P.19
外部機器設定	**機器名称登録**		入力切換 を押したときの各入力の名称を変更します。	P.41
機器情報			本機のソフトウェア情報などを確認します。	P.42
はじめて設定			初回設定をやり直します。	P.43
設定初期化			本機を工場出荷時の状態に戻します。	P.44

便利な機能			
タイマー設定	オンタイマー	曜日・時刻を指定して電源を入れます。	P.20
	オフタイマー	時間を指定して電源を切ります。	P.21
省エネ設定	省電力	画面の明るさを下げて電力消費を抑えます。	P.50
	無操作電源オフ	3 時間以上操作がないときに自動的に電源を切ります。	P.21
	無信号電源オフ	放送波や外部入力信号が 10 分以上ないときに自動的に電源を切ります。	
電源切換	電源	使用する電源（AC アダプター／バッテリー）を切り換えます。	P.39
	バッテリー使用時間帯	指定した時間に、本機をバッテリー駆動に切り換えます。	P.39
デジタル放送設定	字幕	字幕の表示言語を設定します。	－
	文字スーパー	文字スーパーの表示言語を設定します。	－
クイック起動		電源を入れてから映像が表示されるまでの時間を短縮します。	P.22

製品仕様

項目		
製品型番	PRD-LK112BK ／ PRD-LK112WH ／ PRD-LK112RE	
外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）	スタンドを含む	：29.2 cm x 21.1 cm x 9.4 cm
	スタンド・突起部含まず	：29.2 cm x 19.2 cm x 4.9 cm
画面寸法（幅 x 高さ / 対角）	25.6 cm × 14.4 cm × 29.4 cm	
受信機型サイズ	12V 型	
質量	バッテリーパック含む	：約 1.5 kg
	バッテリーパック含まず	：約 1.2 kg
チルト	前 15°　後 40°	
区分名	DI	
動作環境	温度：0 ～ 35 ℃　湿度：10 ～ 90 %RH　（結露なきこと）	
液晶性能	液晶パネル方式	TN 方式
	縦横比	16：9
	画素数	1366 x 768 画素
	視野角	上 15° 下 35° 左 45° 右 45°（TYP） ※コントラスト比 10：1 が確保できる角度
音声出力	実用最大出力 500mW + 500mW (JEITA)	
電源	使用電源	本体：DC 19 V AC アダプター：AC100 V 50 Hz/60 Hz バッテリー端子：DC 4.8 V
	消費電力	22 W（バッテリーパック非充電時 13 W）
	年間消費電力量	約 22 kWh/ 年（スタンダード時）
	待機電力	0.8 W 以下 ※クイック起動の適用時を除く
	使用時間	バッテリーパック　：約 2 時間 充電式電池　：約 2 時間 （容量 1900mAh の eneloop を使用時） アルカリ乾電池　：約 1 時間 ※初回使用時（満充電）の状態から、以下の条件で使用。 環境温度：25℃ 本機の設定：「省電力」が有効 接続機器：ヘッドホン
	バッテリーパック充電時間	：約 6 時間

接続端子	アンテナ端子	地上デジタル（入力インピーダンス 75 Ω）
	ビデオ入力	映像：1 系統（RCA）　音声：L/R（RCA）
	その他	ヘッドホン出力：3.5 φステレオミニジャック
		USB 2.0（サービスマン専用）
		ミニ DIN コネクタ（サービスマン専用）
受信放送	地上デジタル放送、 ケーブルテレビ（パススルー） ワンセグ放送（データ放送非対応）	
IR 受光部受光角度	上 30° 下 30° 左 30° 右 30°	

■ 受信機型サイズについて

「12 V型」は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ 区分名について

「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素数、動画表示、および付属する機能の有無などに基づいて区分を行っています。

■ 年間消費電力について

省エネ法に基づいて、一般家庭での 1 日の平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。

■ バッテリーパックについて

バッテリーパックの「充電時間」と「使用時間」は、本機の使用環境などによって実際の時間と異なります。
また、使用時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。別売のバッテリーパックを購入してください。（P.71）

■ サービスマン専用端子について

サービスマンが使用する端子です。故障の原因になるため、使用しないでください。

■ 本製品の廃棄について

本製品および本製品の梱包箱（緩衝材を含む）の廃棄は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。
バッテリーパックを廃棄する場合は、お住まいの近くの充電式電池リサイクル協力店の「小形充電式電池リサイクル BOX」に入れてください。なお、バッテリーパックの端子部分はビニールテープなどで絶縁しておいてください。

■ おことわり

仕様および外観は、性能向上やその他の理由で、予告なく変更する場合があります。
本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。

索引

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

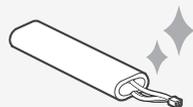
や行

ら行

わ行

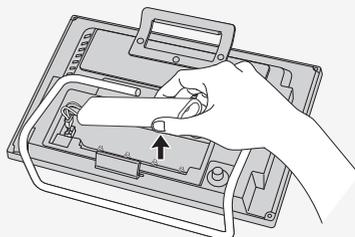
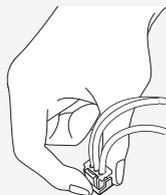
バッテリーパック買い換えのご案内

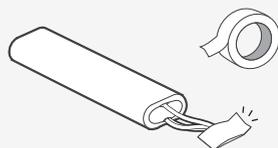
別売のバッテリーパックを購入する

本製品をお買い上げいただいたお店、または弊社
ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

型番：PIX-PW005-PMH

不要になったバッテリーパックを取り外す

1 本体背面のカバーを開ける
2 コネクタのツメをつまんでから引き抜く

3 バッテリーパックを取り出す

コネクタを絶縁する

電気を通さないように、ビニールテープなどで
コネクタを覆います。

リサイクル協力店に持っていく

バッテリーパックはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル
可能な貴重な資源です。最寄の充電式電池リサイクル協力店へ持参してください。

Ni-MH

充電式
ニッケル水素電池

**リサイクル協力店は下記のURLで検索するか、
お買い上げ店にお問い合わせください。**

**一般社団法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/**

地上デジタル放送やアンテナについてのお問い合わせ

□ アンテナについて困ったときはお近くの電器店にお問い合わせください。

□ 地上デジタル放送全般についての質問はDpaにお問い合わせください。

Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）
ウェブサイト　http://www.dpa.or.jp/

□ mini B-CAS カードについてはB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター

電話：0570-000-250　IP電話：045-680-2868
ホームページ　http://www.b-cas.co.jp/

受付時間	**10:00～20:00**（年中無休）

本製品の操作方法や修理のご相談

株式会社ピクセラ

フリーダイヤル
0120-727-231

携帯電話をご利用の場合はナビダイヤルにかけてください

0570-064-246（通話料がかかります）

受付時間	**10:00～18:00**（年末年始と祝日を除く）

※フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合はFAXでお問い合わせください

FAX 06-6633-2992（通信料がかかります）

2012年1月初版
1506-0KDR000